

# ひだまり



令和2年9月11日(金)  
足立区立中川東小学校  
道徳通信 第2号  
校長 豊田 純子  
道徳教育推進教師 前田 康介

夏休みを終え、学校では子供たちの成長が様々な場面で見られています。上履きがきれいに整頓されたくつ箱、低学年の友達に「右側歩くんだよ。」と優しく声掛けをする中学年の子供たち、「よりよい学校を!」と意欲をもち委員会活動に取り組む高学年の子供たち・・・中川東小の子供たちの豊かな道徳性は、着実に育っていると実感しています。

保護者のみなさまも、夏休み期間に「成長したなあ・・・。」とお子さんの成長を感じた場面があったことと思います。今後も、ご家庭でお子さんのすてきな成長が見られましたら、ぜひ学校にご連絡ください。引き続き、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

## ◇ 道徳の評価について ◇

今年度の通知表でも、他教科と同様に道徳の評価を行います。通知表には、どのような観点で評価を行っているのかが示されておりません。そこで、道徳通信を通して、保護者のみなさまに道徳の評価観点をお伝えしたいと思います。

「特別の教科 道徳」の評価は、道徳授業で見られた子供たちの学習状況や道徳性に係る成長の様子をワークシートや発言、会話などから見取り、特に顕著と認められる部分を通知表(あゆみ)に書くことになります。

(例)1年生 「はしのうえのおおかみ」

「はしのうえのおおかみ」の学習では、人に思いやりの心をもって親切にすることは、人に意地悪するおもしろさよりも、ずっといい気持ちになることに気がきました。

上記の例文のように、『思いやりの心をもって親切にする』ことは子供たちの道徳性であり、『いい気持ちになることに気付いた』点は、道徳性に係る成長の様子と捉えられます。このように、1時間の学習で見取れた子供たちの様子について、評価を行います。また、子供たちの道徳性は数値で測れるものではないため、記述の評価となります。

各担任が思いを込めて、子供たちの道徳所見を作成します。通知表が配布された際には、ぜひご家庭で話題にさせていただけると幸いです。

\*道徳性・・・子供たちが自らよりよい生き方を見出すための基盤となるもの

## ◇各学年の道徳の時間◇

「道徳通信『ひだまり』」では、各学年の道徳授業の様子をリレー形式でお伝えしていきます。今回は1年生の道徳授業の様子です。



教材名: 『きんのおの ぎんのおの』

ねらい: うそをついたり、ごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活を送ろうとする心情を育む。

## 子供たちの学習感想

### ☆いい気持ち☆

- ・本当のことを言うと気持ちがいい。
- ・本当のことを言えたらほっとする。
- ・本当のことを正直に言えるとうれしい。
- ・正直でいれば、きっといいことがある。
- ・みんなが素直な気持ちでいれば、みんなが幸せ。

### ★いやな気持ち★

- ・うそをつくといやな気持ちになる。
- ・うそをつくと気持ちがモヤモヤする。
- ・かくしごとをしないようにしたい。
- ・「うそをつかなければよかった」という後悔の気持ちになる。



～1年生の役割演劇の様子～

### 役割演技とは・・・?

登場人物の気持ちを深く考えるために、登場人物になりきって演技をすること。演技を見ている子供たちも、物語の世界にぐっと引き込まれていきます。